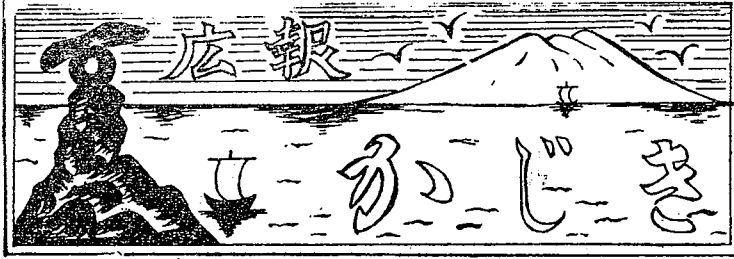


尋ね人

昭和17年4月1日熊本健軍病院から旧鹿児島郡伊敷村犬迫に退院された、徳永敏吉さん(大正8年生れ)を引率された、加治木町出身の方で、年令氏名共に不明の方をさがしておられます。もしお気づきの方は役場民生課までお知らせください。(本人は現在傷病恩給の手続き上是非衛生兵の方を探さねばなりません)



発行所 鹿児島県加治木町役場 (一戸一枚配付) 発行人 曾木隆輝 編集人 中元邦夫 印刷所 吉屋印刷所

人口の動き

昭和38年(4月1日現在)			
◎ 世帯数	5,132		
◎ 人口	19,515人		
男	9,154人		
女	10,361人		
3月中の出生 死亡			
区分	出生	死亡	増減
男	11	7	4
女	15	10	5
計	26	17	9

昭和38年度当初予算成る

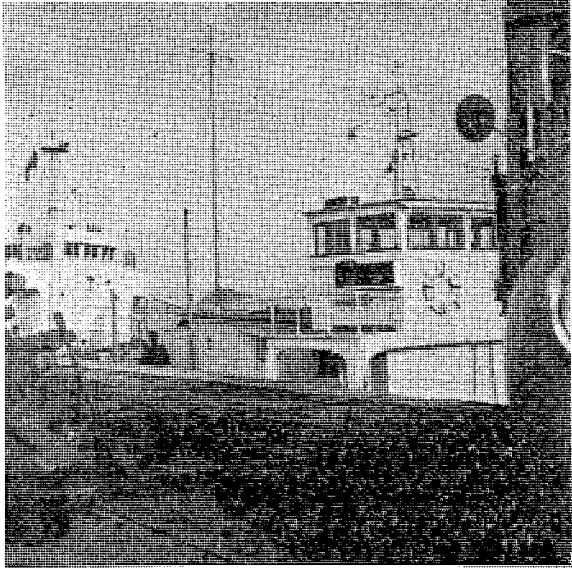
教育・土木建設・産業振興を柱に

健全財政の確立をはかる

昭和三十八年度定例第一回町議会は、会期十七日間に亘りさきほど開催され、この議会に三十八年度予算を上程した。この間町長は本年度の施政方針を次のとおり発表された。

三十七年度を顧みて

昨年の三月定例議会において本町の一般会計一億六千九百六十九万九千二百八十四円、上水道事業一千二百八十八万四千円、国保事業一千六百九十七万九千六百円、特別会計予算千六百万円の二特別会計予算御審議をいただきましたが、その際、私は特に、一般会計において或いは弾力性の乏しい憾ありとせらるるかも知れぬし、多少才入を過大視した傾向なしとも云えます。また、目標を高く掲げて最大の努力をいたす所存であります。このようにいたしまして最終段階で一般会計予算は二千



船でにぎわう最近の加治木港

本年三月一日の本町の人口は一九、九二五人となっております。登録人口は二〇、八二六人となっております。就職や進学等で毎年相当の若い人口が他町村に比し、あまり減少しないのは、諸工場や官公庁住宅なども次々に出来てまいりますが、また本町が交通の便も良くなつてきたこと、道路も整備されてきたことを考えれば、幾分従来よりも本町は住みよいのではないかと考えています。

町民収入の状況 本年三月一日の本町の人口は一九、九二五人となっております。登録人口は二〇、八二六人となっております。就職や進学等で毎年相当の若い人口が他町村に比し、あまり減少しないのは、諸工場や官公庁住宅なども次々に出来てまいりますが、また本町が交通の便も良くなつてきたこと、道路も整備されてきたことを考えれば、幾分従来よりも本町は住みよいのではないかと考えています。

町財源の主軸は町税 町財源の主軸をなします町税は、結局財政需要即ちなすべき行政、町民の為に役立つ仕事を為す為には、或る程度住民の負担が大きくなるを得ないという見方も成り立ちますが、しかし、今日既に税金は減税されても地方税は逆にふえてくる傾向にあり、国が減税を打出すなら地方税は逆になすべきであると思いが、今日未だ十分これが実現しないが私は別に提案いたしません。

新年度への考え方 新年度予算編成に当り、根本方針として考えましたのは、才入面では町民に出来るだけ無理をかけぬよういたしたいが、町も財源確保の必要から精一杯は協力して貰うこと。才入面では教育、土木建設、産業の進展を柱として、これに他の事業をそれぞれ織り込んで町政の発展、町民の福利に役立つ施策をおしすすめるという立場です。すなわち、才入に限り度があり、必要最低限度を当初予算として取り上げるといふことにはいたしました。

野中翁の厚志 竹下の野中義明さんは米寿の記念に、町協に多額の寄付をされたが、同氏は佐賀県生れて、五十年の昔時の鈴木会社(現在の協和醸造前身)に、からの焼酎製造技師として来られた人。製法も加工の祖ともいふべき人だ。八十八才まで元気で生きて居るのは加治木の皆さんのおかげです。感謝の日を送って居る。社協では野中さんの意をくんで助け合い資金に当てることとした。

町民収入の状況 本年三月一日の本町の人口は一九、九二五人となっております。登録人口は二〇、八二六人となっております。就職や進学等で毎年相当の若い人口が他町村に比し、あまり減少しないのは、諸工場や官公庁住宅なども次々に出来てまいりますが、また本町が交通の便も良くなつてきたこと、道路も整備されてきたことを考えれば、幾分従来よりも本町は住みよいのではないかと考えています。

町財源の主軸は町税 町財源の主軸をなします町税は、結局財政需要即ちなすべき行政、町民の為に役立つ仕事を為す為には、或る程度住民の負担が大きくなるを得ないという見方も成り立ちますが、しかし、今日既に税金は減税されても地方税は逆にふえてくる傾向にあり、国が減税を打出すなら地方税は逆になすべきであると思いが、今日未だ十分これが実現しないが私は別に提案いたしません。

新年度への考え方 新年度予算編成に当り、根本方針として考えましたのは、才入面では町民に出来るだけ無理をかけぬよういたしたいが、町も財源確保の必要から精一杯は協力して貰うこと。才入面では教育、土木建設、産業の進展を柱として、これに他の事業をそれぞれ織り込んで町政の発展、町民の福利に役立つ施策をおしすすめるという立場です。すなわち、才入に限り度があり、必要最低限度を当初予算として取り上げるといふことにはいたしました。

野中翁の厚志 竹下の野中義明さんは米寿の記念に、町協に多額の寄付をされたが、同氏は佐賀県生れて、五十年の昔時の鈴木会社(現在の協和醸造前身)に、からの焼酎製造技師として来られた人。製法も加工の祖ともいふべき人だ。八十八才まで元気で生きて居るのは加治木の皆さんのおかげです。感謝の日を送って居る。社協では野中さんの意をくんで助け合い資金に当てることとした。

と推定されます。 営業商工業など商業は勿論、未だ明確にはありませんが右に上下した線は出て来ています。 農家の生産高はこれ亦一応名目収入ではありませんが、前年に比し最低一割一歩乃至二歩程度の増収は考えられるようであり、と申します。米価、からいもの値上げもあり、また増産に総力をあつた結果でもあると思えます。 ①水稲 二千三百六十万円の増で総額一億九千八百万円。 ②畜産においては四十二万円の増で総額一億一千八百円。 ③からいもの 一千六百万円増で総額五千五百万円。 ④そさい 一千六百万円増で総額三千五百万円。 その他はなっています。 然し減少したものに ①陸稲 九百万円位減で一千七百万円となり。 ②なたね 八百万円減で六百万円となり。 ③葉たばこ 三百八十万円減で三千三百万円。 その他裸麦、粟、そば等雑穀がそれぞれ百万円程度減つています。

かかして農家収入は総計は前年の八千六、七百万円増の四億八千六百万円の生産をあげた。一戸当たり二十万円の増となり一戸当たり三万円の増といえましょう。しかし、肥料、農薬、飼料等は人員費等必要経費の上昇を考えますと差引きやは一割内外の実収入増と考えられます。 全般的に町民の収入は一昨年比し多少の増収はあり、町民の生活水準は幾分高くなつたことは事実であり、町民各位の御努力に敬意を表します。しかし、都会の消費物価の高騰が地方にも次第に影響を及ぼして参り、本年政府は物価上昇率を七%程度と見ていますから、これに対応する町民の御努力も、更にお願いせねばならぬものと信じておられます。

新年度への考え方 新年度予算編成に当り、根本方針として考えましたのは、才入面では町民に出来るだけ無理をかけぬよういたしたいが、町も財源確保の必要から精一杯は協力して貰うこと。才入面では教育、土木建設、産業の進展を柱として、これに他の事業をそれぞれ織り込んで町政の発展、町民の福利に役立つ施策をおしすすめるという立場です。すなわち、才入に限り度があり、必要最低限度を当初予算として取り上げるといふことにはいたしました。

野中翁の厚志 竹下の野中義明さんは米寿の記念に、町協に多額の寄付をされたが、同氏は佐賀県生れて、五十年の昔時の鈴木会社(現在の協和醸造前身)に、からの焼酎製造技師として来られた人。製法も加工の祖ともいふべき人だ。八十八才まで元気で生きて居るのは加治木の皆さんのおかげです。感謝の日を送って居る。社協では野中さんの意をくんで助け合い資金に当てることとした。

県の出先機関 諏訪の保健所敷地に県の出先機関を一つとめにする工事が始まった。来る六月の県議会では本年度分もさきまが、七千万円の予算で、四階建鉄筋庁舎が来年の四、五月までに出来上ることとなった。財務、農林、福祉、労政、土木耕地それに教育事務所などが来年一緒になる。保健所建築は一寸おくれる模様。旧建物は町で払い下げを受け、文教社会施設に当てる見込み。

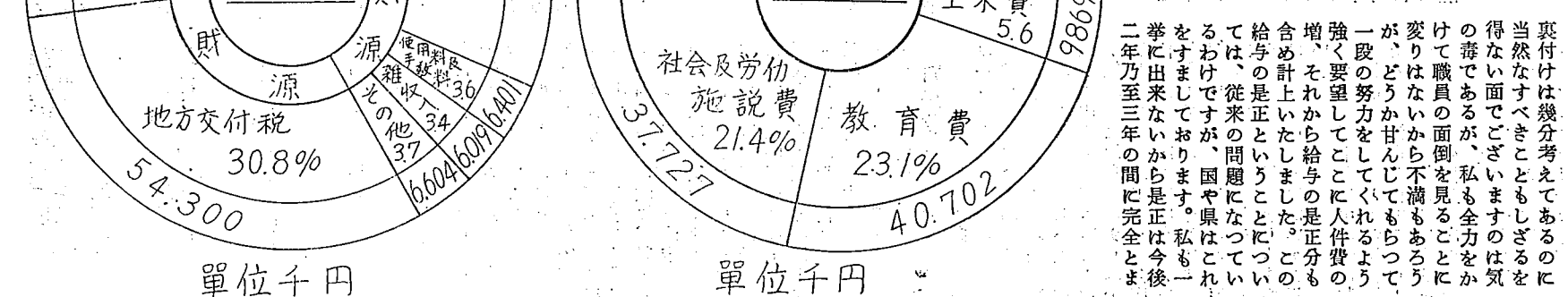
香典返しを寄附

本町	池田シナ	参千円
木田	木田シナ	参千円
白浜	白浜次彦	参千円
田中	田中森	参千円
堂森	堂森ヒサ	参千円
柳木	柳木マサ	参千円
反土	反土マサ	参千円
永井	永井利	参千円
川内	川内清	参千円
飯屋	飯屋清	参千円
伊部	伊部清	参千円
前田	前田清	参千円
錦江	錦江清	参千円
垂水	垂水キミ	参千円
新富	新富キミ	参千円
原田	原田精耕	参千円
西反土	西反土	参千円
町田	町田	参千円
小山	小山	参千円
藤野	藤野スミエ	参千円
特種寄附(米寿祝)		
金吾万円也	竹下 野中儀朝	壹千円
なぞ蔵末たすけあい資金として	金吾千円、本町大久保	壹千円
国男氏からくださいました	御芳情厚くお礼申し上げます	壹千円

ればならない。②国の本年度交付税予算は交付金をふくめ二〇%の増になつてゐる。③しかし、本町の基準財政収入額が増加していることと見られることは必至であるので、その差額が減せられることも覚悟せねばならない。④本町の今後必要とするものは、例えば事業の裏付け源のことも考へてここに計上せねばならぬ。この様な幾つかの条件を検討して三十八年度当初に計上する額は、三十七年度実績の一割以内の増に止めておくことが適当と判断して五千四百三十万円を計上することにいたしました。

只本年もつとも苦心を要しましたのは、所謂人件費の増であり、勿論、政府は給与対策として交付税の配分増を考へてゐることは事実であります。私共は職員給のみの措置は妥当でないとして、この際すべての人件費について、同時に提案を申しあげて、これを改訂することとしたのであります。これに要する経費、その他人件費と見るべきもの負担金等一切を含めて約五千七百七十万円に達してゐます。昨年当初予算の場合の人員費に比べますと二七%増になつてゐるわけであり、これは国、県の打出す基準や、一般民間のそれに準じて改められるべきもので、一面から申すだけでもまだ本町の改正は妥当でない、追いついていないという点が多いのであります。己むを得ない義務的経費として最少限度計上することとしたものであります。これが自然事業費の圧迫という点にもなりかねませんので、予算編成には極めて困難を来たしました。しかし、出来るだけのことはするつもりでございます。以下順を追って大要を簡単に説明いたします。

あるまいかと考えましたので、県や郡の申し合せの線を下廻りしますが御審議の上御了解を得たいと思つております。



では行きませんが、国の示す線の五〇%位はもつて行きたいと思つてゐます。事務改善も折角委員会ですら、その中可能な分からはとりあげて実施しようとするつもりです。しかし、十分御察察いただきまして、御了承を願ひたいと思つてゐます。ここに僅かでございますが、増額を願ひたいと思つてゐます。この増額は、従来は正と正との関係は正と正というもので、己むを得ないと思つて、既に三役をすましておられます。私も一年乃至三年の間は正は正と二年乃至三年の間は完全とま

道路が長雨或は雪のために非常に荒廢してあります。本年より更に上場地帯の道路にも力を入れるよう考へております。これがために是非砂利を町で作つて撒布させる必要があると存じ、撒布費に機材購入費の補助を無理にお願いしておりましたところ幸ひに遂に、三日前、先ずダンプカーの補助を而も予想以上に貰うことになりましたので、これを今月中には購入いたします。また、本年度においては砕石機クレーン等、動力ベルトコンベヤー等を貰うよう願ひたいと思つてゐます。全部を一時にいたすことは困難ですが、主なもの一つでもきつと貰えるものと判断をいたしてありますので、ここに予算を計上いたしました。これによりまして、本年から特に、上場地帯で道の悪い所は砂利を撒布して行くという方針で進んでいくと思つてゐます。その他土木関係で県の事業の道路、河川関係は地元負担金を出さすにいたしました。県に協力して進んで貰う心算であります。

教育費 教育は所謂人作り事業であり、従来も力を入れて参りましたが、負担金その他で地元にも迷惑をかけています。これをすまなく思つて、町教育委員会と共に更に一段の努力をかたむけたいと思つてゐます。しかし、なるべく早く、補給のない様なものについても可能な限り校区民の御協力を仰ぐことも己むを得ないと思つてゐます。教育委員会からいろいろ要望のありました件について検討を加えたいのでございますが、緊急必要なか中危険校舎改築分、永原中学の理科技術科教室、鎮守永原小中学の合同給食室とを考慮に入れていますが、その他各校の理科、産業振興対策などは加中の補助グラント購入費の一部をいたすよう、また、社会体育や公民館、図書館活動にも支障のないよう予算化してありますが、本町教育費の予算はこれで全体の二十

といたしました。その他産業振興、特産奨励、木田土地改良の助成これについても十分考慮し、農業基盤整備を以て、その振興といったことを考へながら農家収入の対策を考へることにより、先に申しあげましたとおり、年々少しづつは上つて行きますものの、労働力減とか、消費支出面の増加とかでその経営は容易ではありません。出来るだけ県や国からの補助を取り入れ、また純町費も可能な限り注ぎ込み、農家の奮発をお願いしつつ産業振興をはかつて行きたいと思つてゐます。しかし、県として参つていただくのが大であると思つてゐます。商工業関係は、その振興のために町としてもこれを援助して、町にも協力を願ひ、次々に設置されます事業所、或いは工場、或いは官舎一般住宅等、或いはこのにお住みになる方々に商工業者も新しい気持でサービスしていただきまして、お互に発展していただきたいのだと思つておられます。

財産費 財産費中本年度は植林関係の費用を増額いたしました。これは専売公社との補助林の契約も解約いたしましたので、特に、先輩の残されたものを町に役立てて貰ひましたので、これを子孫に一本でも多く植えて育てて残すことが先輩に対して御恩返しだと考へまして、多少無理してでも昨年よりも沢山植林、また山払等をさせたいと考へます。特別会計事業上水道事業総額一千二百七十三万円

盛り上がる新生活運動

中野地区の実相

中野地区の新生活運動の実相については、前号(八五号)から紹介をはじめ前号で地域の状況、運動の発端について既報、本号では活動組織、運動目標、グループの状況、運動の現状と将来の計画について簡単に紹介して終ることとします。

運動の経過

① 運動目標
こうして三十六年度は運動の目標を

② グループの状況
生産グループには長谷農事研究会(普通作一般及び専作)中野農事研究会(普通作及びびそさい園芸)長谷甘藷研究会(温州みかん栽培研究)楠原同(同)、長谷養豚同好会(豚の飼育改善)、弓削和牛同好会(和牛の飼育改善)楠原同(同)長谷婦人グループ(宮農の改善と共に生活の計画をた

③ 困習打破と生活の合理化
また、困習の打破と生活合理化の課題については、まず、実態調査から入って

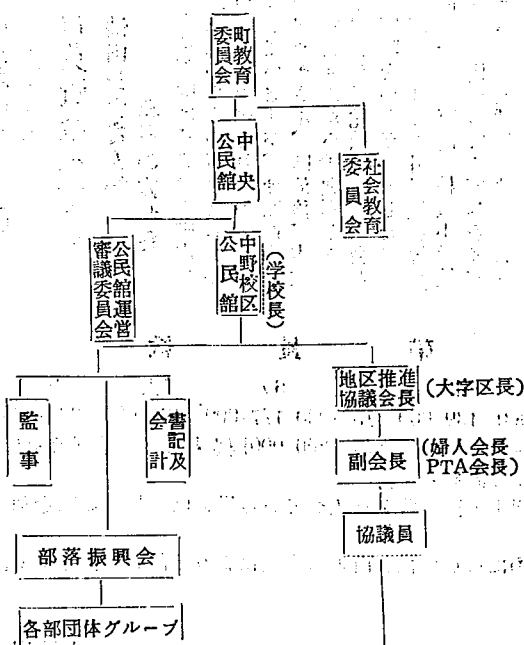
④ その他
その他、毎月の推進協議会での活潑な発言のうちに

打破というふうにも高めていっている。

① 運動目標
こうして三十六年度は運動の目標を

行とか、かかかニューモラスな申し合せもあり、七草祝、出産祝、結婚式の簡素化などは着実に実現されつつある。

活動が実を結び
中央から表彰
こうした活動の成果は、昭和三十七年度県下20の指定地区の中から中央表彰優良地区



運動の現状と将来の計画

新生活運動を生産生活と結びつけるために行なわれた地区の実態調査の結果を今後の実践活動に役立たせる努力がつけられている。今後の問題点として考えられていることは「問題意識をどうしたら昂揚できるか」ということ。「生産的指導団体との密接な連携」ということ。「人づくり」などについてであるが、下部組織まで浸透させる努力が今後に期待されている点である。

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか



(写真は中央表彰場風景)

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

この表彰のねらいは△地域の人の意欲を振起して自分たちの意志と自主的な協力の中心で活動されているか△運動にひとり組む姿勢と態度はどうか△個々の成果より活動の過程に自主性、協同精神が培われてきているか

建設課の活躍
三十七年度建設課は盛り沢山の事業を背負い計画どおり片付けて実績をあげたが、新年度の仕事をのぞいて見よう

建設課の活躍
三十七年度建設課は盛り沢山の事業を背負い計画どおり片付けて実績をあげたが、新年度の仕事をのぞいて見よう

建設課の活躍
三十七年度建設課は盛り沢山の事業を背負い計画どおり片付けて実績をあげたが、新年度の仕事をのぞいて見よう

引揚給付金等請求時効
引揚給付金等支給法が、公布施行されて、満五年になり

引揚給付金等請求時効
引揚給付金等支給法が、公布施行されて、満五年になり

引揚給付金等請求時効
引揚給付金等支給法が、公布施行されて、満五年になり

引揚給付金等請求時効
引揚給付金等支給法が、公布施行されて、満五年になり

青少年のために明るい環境をつくらう 青少年保護育成運動はじまる

来る五月一日から三十一日まで一ヶ月間、青少年保護育成運動強調月間として全国運動が行なわれます。

本町においては、この運動を強力に推進して効果をあげるため、近く青少年問題協議会をひらき、その対策について協議することになっておりますが、関係機関、団体は勿論、町民みなさんの協力をお願いしたいと思います。

一 目標
青少年のために明るい環境をつくる

- ① 明るい家庭づくり
- ☆豊かな人間性の確立
- ☆健康の増進
- ☆少年の非行防止
- ② 公德心を育てる
- ☆社会人として公德心のかん養
- ③ 働く青少年の福祉を高める
- ☆健全な余暇生活

育英制度は有難い

貸費生から感謝の手紙

本町では優秀な学生生徒で経済的理由によつて修学困難な者に、昭和三十年度から奨学金の貸付けを行なつてまいりますが、はじめてから昭和三十八年三月までの奨学生総数は高校生六十二人、大学生三十人に達し、奨学金の貸付累計額は三、〇三三、三〇〇円になつております。

現在この恩恵により、大学を卒業した者十五人、高校を卒業した者四十八人は、何れも実社会で活躍しております。

今年加治木高校を卒業し、兵庫に就職した仁礼美紀さんから教育委員会に感謝の手紙がとどきました。

次はその全文

多くの人が、何等かの方法で富を得ようと四六時中

あくせくしているかに見える今日、このような情愛のこもつた育英制度があることを、自分が貸費生として経験しただけに一層嬉しく思い感謝しています。そして父親のない私にとつて三年という長い間の奨学金がどんなにありがたかつたことか……ペンでは表わせない程です。

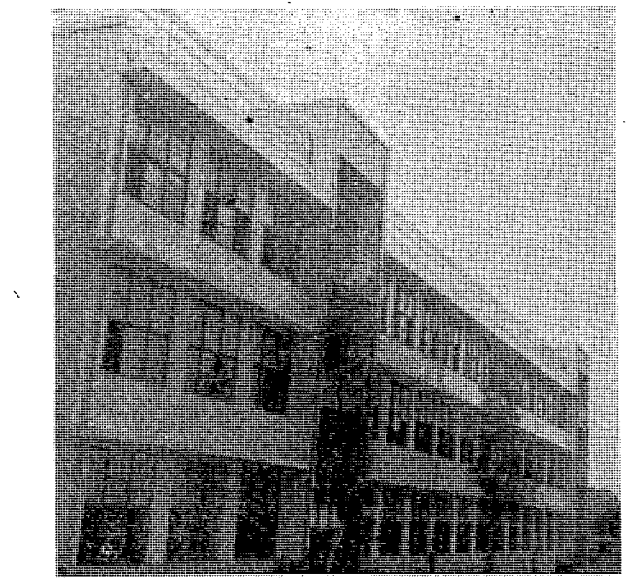
社会の一員となりこれから先多くの困難にぶつかる私です。日々が修養であることを忘れず、立派な人間になるよう努力することが私に出来る恩返しと思ひます。勉強にもえながら不遇の境地におかれては、多くの人が心を通じ、多くの人がこ

育英制度はじまつて町内の篤志家からその資金として相当額の寄附がされ、当事者を喜ばしてはいますが、今回端山の池田シナさん、同部落、木佐木定文さんから香典返しとして、また、桜城校区婦人会から寄附をいただきました。

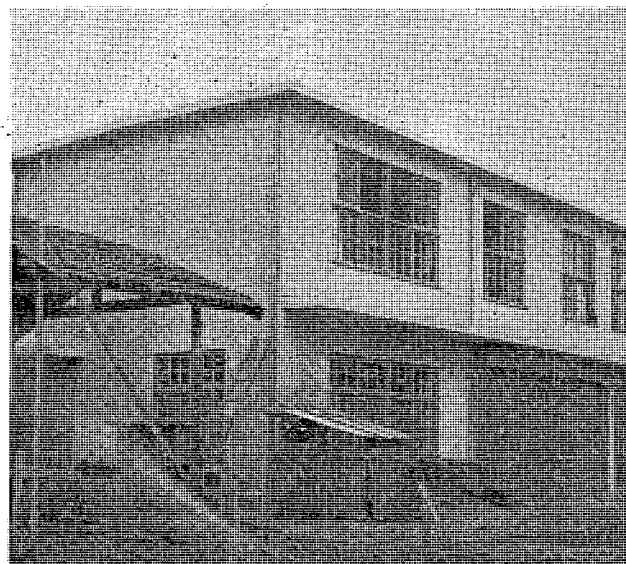
池田さんはこの外、社会福祉協議会へ一万円、桜城小学校へ二万円の多額の寄附をくださいました。御芳情厚くお礼申し上げます。

世帯員数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
所得	103,000円	120,000	139,000	159,000	177,000	191,000	208,000	211,000	215,000	217,000

- ① 上記の外に固定資産の評価額が200,000円を越える場合越える10,000円について、1,400円の所得があると見て表を見る。
- ② 年間5,000円以上の医療費を支払っている場合は、越える額を前年の所得より差引いて上記表を見る。
- ③ 上記表並びに①については、町の税台帳により確認した額とする。



加治木中学校校舎



農事センター

加治木中学校校舎は、昭和三十七年度において建築中の加治木中学校はこのほど完成した。

総坪数は四八四坪（三十七年分は三四四坪）で、工事費は二千八百六十六万六千三百七十七円（三十七年度分は二千四百四十二万二千円）の鉄筋コンクリート三階建内容（一般教室一五、階段室二、教材室二となつており、中島建設が着工し三十八年三月三十一日完成した。

農事センター
総工事費二百九十万円、鉄筋コンクリート二階建六三、四坪が着工し、役場裏に建築三十八年一月三十日完成したもので、内容は調理指導室、機械置場、集會室、事務室、映写室、標本室などが設けられている。

豊平先生と竹下親子会
四月二十二日、県福祉会館で、加中の豊平先生と竹下親子会（代表山上チツ子）の落親会が、青少年健全育成功労者として、市町村青少年問題協議会の表彰をうける。永年この仕事に努力された功績が認められたものである。

加中と農事センター完成
三月三十一日完成した。

農事センター
総工事費二百九十万円、鉄筋コンクリート二階建六三、四坪が着工し、役場裏に建築三十八年一月三十日完成したもので、内容は調理指導室、機械置場、集會室、事務室、映写室、標本室などが設けられている。

老令障害 母子年金の5月支払いが6日から
① 老令福祉年金、障害福祉年金、母子福祉年金の5月支払いは、五月六日よりです。これらの福祉年金は、年に一度所得状況届をして、これから一年間の金額を記入して貰うという育英制度により目標を達せられんことを切望してやみません。

育英資金へ寄附
池田シナさん等
三名の方から

加治木中学校
昭和三十七年度において建築中の加治木中学校はこのほど完成した。

加中と農事センター完成
三月三十一日完成した。

豊平先生と竹下親子会
四月二十二日、県福祉会館で、加中の豊平先生と竹下親子会（代表山上チツ子）の落親会が、青少年健全育成功労者として、市町村青少年問題協議会の表彰をうける。永年この仕事に努力された功績が認められたものである。



完成した桜城 プール

桜城小プール完成
昨年四月から失対事業で工事を急いでいた桜城小学校プールは本年三月完成した。

長さ二五米 巾一七米、水深一、二米浅いところで一米のハコース、工事費は三百六十一万一千円（給水工事費除く）

加治木町では、その届けの受付を、五月六日より、民生課年金係でいたしますので五月支払分をうけたら、その足ですぐ届けをしてください。届けには、証書、印鑑の外、本人の前年の所得と、扶養義務所の所得税額等を、お聞きせねばなりませんので、調べておいてください。

小中学校教職員人事
四月一日付

△転入（内は前 順序不同）
△桜城小学校へ
教頭弓場三好（盈進小）教諭内忍（長浜小）松浦幸雄（竜門小）末重益盛（小浜小）岡元義雄（新採用）小浜笙子（錦江小）事務職員松浦俊彦（大田小）

徳永義夫（建昌小へ）
△鎮守小学校から
本村利夫（曾木小校長へ）
大田忠夫（退職）
△加治木中学校から
長井利基（退職）和田忠徳（中野小教頭へ）湖之上堅志（岩崎中へ）山下雄雄（甲東中へ）武井紀子（谷山西中へ）
△永原中学校から
黒田実雄（国分塚脇小校長へ）小野秀夫（中種子高校へ）

共立農機具
城田広氏の美挙
かねて店舗新築中の、共立農機具店は、この程堅牢優美な建物が竣工し、落成祝賀式の経費を、加治木町が国庫補助事業で、建設した役場庁舎北側の農事センター備品購入費として、金貳万円の寄附納をした旨申し出られたので、町に於いては、この美挙に感謝し、有効に活用することとした。